

つるまき

グリーンメゾン鶴牧3 高齢化対応委員会



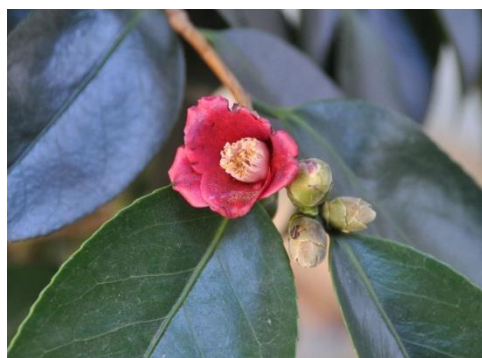
「環の会通信」特別号再刊 2号

富士山がまた白くなくなりました

お気づきでしょうか富士山が白さを取り戻しました。12月の初めに真っ白になったのが、黒いところがどんどん増え行きました。日本海側は大雪だというのに一向に白くなりません。「真上から見たら向こう側は真っ白なのかしら」などと話していました。先日の雪でやっと白さを取り戻しました。おかしな冬です。この時期、いつもの年なら朝、鶴牧山は霜で白く染まります。今年はそんな姿をほとんど見ていません。暖かいためだけではなく、雨が少なく乾燥しているせいだそうです。散歩をしているといろいろと気づくことがあります。

自粛の中、家にこもってばかりいては逆に健康を損なう恐れがあります。幸い我が団地は公園に囲まれています。一日一回は外に出て周りの自然を楽しんではいかがでしょう。

早春の花々 ～グリーンメゾン鶴牧の自然～



一子侘助 (7号棟北側)



白椿 (7号棟南側広場)



山茶花 (10号棟西側)

厳寒のなかでもけなげに咲いている花々があります。海外でも人気の日本の椿。椿(ツバキ)と山茶花(サザンカ)は同じツバキ科ツバキ属の植物です。園芸品種が多くて花を見ただけで区別するのは難しいのですが、学名が異なりツバキは *Camellia japonica*、サザンカは *Camellia sasanqua* です。いろいろな品種があるなかで、一子侘助(イチコワビスケ)は2cmほどの小さな花です。

コロナ禍の仕事と暮らし ～ 今まで通りでは暮らせない！～

今回は高層棟にお住いの長内義文さん、くみこさんご夫婦の登場です。

ご主人は当団地育ち。仕事はコロナの嵐を最も強く受けている飲食業を営んでおられます。ご家族は小学生の娘さんが二人いらっしゃいます。

問：今お仕事は大変でしょうか？



夫：店は多摩センター駅前「おちあい横町」の地下にあり、ワインとスペイン料理などを提供しています。コロナでお客様は半分以下になり、緊急事態制限で8時閉店ですからお酒の販売利益はほぼ0です。今まで通りでは暮らせないので、弁当のケータリングとキッチンカーをはじめました。弁当は多摩市役所などの事業所に届けています。キッチンカーは日野のJAみなみ駐車場やその他の場所を借りて営業しています。

妻：弁当のピラを団地の皆さんのお宅にポストイングさせていただきました。「横丁ワイン酒場リド お弁当デリバリーメニュー」です。お気づきになったでしょうか？電話をいただくとそれを作って配達します。この団地なら運べるかなと思ったので始めました。「買いに行くのは面倒だ」とか「たまには楽をして」という時に利用していただければと思ったのです。

問：この団地は高齢化が進んでいるので弁当の宅配も期待されていますね。

妻：もっとわかりやすいメニューにしなければと思っています。カタカナが多い料理ですから。写真を付けるなど工夫をしなければ・・・

問：話を変えますがご主人は何歳からこの団地にお住まいですか？



夫：10歳からです。父が公団の募集の抽選で1番を引き当ててこの部屋を選びました。それが父の自慢でした。私の子供時代は団地の周りは空き地だったのでいろいろな遊びをし、友達の家にもよく遊びに行ったものです。

*1985年当時、ブリリア多摩センターができる前は広大な空地。
団地東側法面の駐車場増設工事中は臨時駐車場として使用した。
1号棟の向こうに2号棟、右に8号棟が遮るものなく見えている。

問：お住まいは高層棟の上階ですね。災害時の備えとして特にしていることは？

妻：水だけは確保しています。食料は店に在庫がありますから。3.11の時は、私と2歳になる娘は近くの幼稚園にいました。団地に帰ってくると高層棟が揺れているのが分かりました。エレベーターが止まっていたのでベビーカーを抱えて上階まで登りました。大変でした。放射能汚染の不安で清涼飲料水が品切れになり、管理組合が保存水を放出してくれたので助かりました。それでその後は水だけはと備蓄しているのです。

<次号は娘さん二人の学校のことと家庭内の暮らしのお話しです>

コロナ禍の学生生活 ～ あらためて家族のきずなを ～

今年、成人を迎えられた小作梨緒(こさくりお)さんからの投稿です。

2020年は、コロナウイルスに対する多くの不安と、緊急事態宣言での自粛に孤独を感じた1年だったと思います。わたし自身も大切な人たちに会えず、多くの予定がスケジュール帳から消されて、その消されたあとだけが残る1年となりました。

アメリカでは "F 2020" という、早くこの年が終わってほしいと願う曲がリリースされるほど、多くの人が目に見えないコロナウイルスの終息を願っていると思います。

わたしの中では2020年に学校のプログラムの一環で留学をする予定だったのですが、今ではオンラインになり自宅で教授の話聞き、課題の多さに気が滅入りそうです。



ナッシュビルのトリオ、アヴェニュービート

そんな終息の願いを持ち続け、2021年は少しでも素敵な年になるだろうと希望も抱きながら今年の初詣に出かけました。

しかし、二度目に緊急事態宣言が出されたのは成人式の直前でした。そして私たちの代の成人式は中止になってしまいました。仕方ない。と言われるのも十分わかっているのですが、ずっと楽しみにしていて、式に間に合うように髪を伸ばしたり綺麗に染め直したり、友人と振袖の色が被らないように振袖を選んできました。その式がなくなってしまったことは悲しかったです。



しかし、コロナ禍になり、自粛をしていて悪いことだらけではなかったと思います。今までは友達と遊ぶことが多かったり、アルバイトの時間が多くてあまり1日中家にいるということがありませんでした。



わたしには弟と妹がいます。自粛の機会がなかったら、こんなに妹はピアノが上手で、そして、この先どうなるかわからない中で、何時間も何時間も受験勉強をしているなんてことは知らなかったと思います。弟も合唱のクラブに入っているのですが、ここまで上手に歌えるものだとは知りませんでした。

幼い頃は一緒に習い事で家にいることが当たり前だったのに歳を重ねるごとにあまり関わる事がなくなっていました。また、家族で一緒にご飯を食べるということも今まで時間にずれがあったりしたため、あまりありませんでした。それが今では自粛のおかげというのなんですか、一緒に食卓に並ぶことができます。



これを書かせていただいている今日も緊急事態宣言の1ヶ月延長の記事を目にしました。これからもまだまだウイルスとの戦いは続いていくと思いますが、悪いことだらけではない。ということの頭の片隅にいれながら、コロナウイルス終息まで乗り越えていきたいと思っています。

近隣のスポット紹介

ブリリア多摩センターの北側にある**長谷工マンションミュージアム**をのぞいてみました。長谷工テクニカルセンターの一角にあり、「マンションのことならなんでも、見て、触れて、感じて、学べる」といううたい文句通りで、期待していたより面白かったです。そのいくつかを紹介したいと思います。

① 最初に **360° シアター**に入ります。まず、円形の床全面と壁面がぐるっと囲む中に、太古の海の様子がダイナミックに映し出される。壁面には大型の怪魚が、床の足元には奇妙な小魚がうのようによと泳いでいる！まるで太古の海の底をいっしょに泳いでいるかのような錯覚を覚えました。マンションはじまりの物語です。なお、気分が悪くなりそうなときはスタッフに伝えてくださいとのこと。



太古の海 周りに巨大な怪魚、足元には奇妙な魚



古代ローマ時代にタイムスリップ

② 1970年代当時の**実物モデルルーム**には、高度成長期時代のカラーテレビや懐かしい小物などがセットされていて、この団地に引っ越してくる前の生活を思い出させてくれました。最新のモデルルームと比較するとリフォームしようかなと考える方もいるでしょう。

③ 建築に興味のある方なら、地中での杭打ちの様子などを**VR映像**で見ることができます。関係者でもなかなか見ることのできない内容だそうです。

④ 再生と長寿命化について、資産価値を維持するための修繕や建物と設備の劣化による建替えの紹介があります。

⑤ マンション防災展コーナーでは、震災の歴史、マンションの構造の進化、各マンションの共助、さらには未来の防災マンションまで紹介されています。

長谷工マンションミュージアムは事前予約制

0120-808-385

90分程度の自由見学

スタッフによる展示のご案内は、当面の間休止

皆さんのいまの暮らしの様子を投稿してください。お待ちしております。